

市政 刷新

2013年 春号

発行者／福岡市議会議員 調崇史(民主・市民クラブ)



すぐ動く！よく働く！ 調たかし

福岡市議会議員(城南区)

議会報告！

第1回定例会(3月議会)にて一般質問に登壇しました!

■ 生活道路の安全確保「大幅に前進」へ 関連予算・前年度比の約140倍に

平成25年度の一般会計・特別会計予算と関連条例等の審議が去る3月26日まで行われました。今議会中の条例・予算特別委員会の総会質疑において、「生活道路の安全確保」について取り上げました。この項目については昨年9月の福岡市議会定例会の一般質問においても触れましたが、道路の陥没によるけがや事故の発生を防ぐための「路面下空洞調査」が地下鉄などの大型インフラや主要幹線道路の周辺等を中心に行われる一方で、市民の日常生活に最も密接な生活道路ではほとんど行われていないことを指摘し、生活道路での空洞調査実施に向けた取り組みには継続性が必要であり、今後も引き続き積極的な予算確保を当局に求めていきたいと考えています。



こうした中、平成25年度一般会計予算案では、例年60万円程度だった生活道路の空洞調査費を約140倍の8300万円まで増額する方針が示されました。福岡市が管理する道路の総延長は約3800キロメートルで、このうち3000キロメートルを生活道路が占めていますが、3分の2を超える2100キロメートルを対象に路面下空洞調査を行うというのが今年度の関連予算の内容です。生活道路の安全確保に向けた取り組みは、昨年度までと比べて大幅に前進することになります。空洞調査は写真のような「空洞探査車」を走行させることによって行われます。皆さんの家の前の道路でも見かけるかもしれません。

■ 継続した取り組みが必要

道路の陥没は地下に埋設された下水管の破損など、地下インフラの老朽化によって起こるケースが多くなっており、全国的にも今後深刻な問題となる恐れがあります。福岡市の平成25年度の取り組みはこれまでほぼ手つかずだった生活道路の安全確保に大きく踏み込んだ点で評価できるものですが、車幅の関係で空洞探査車が入れない約900キロメートルの生活道路については今後の課題となります。また、福岡市が関連予算を増額するに

あたって主な財源となったのは、国が平成25年2月に組んだ10兆円規模の補正予算です。このため平成26年度の予算以降も、国の予算措置が継続されるのかといった点も重要です。

建設から時間が経った地下インフラは年月を経るごとに老朽化し、新たな道路陥没のリスクが生じます。生活道路の安全確保に向けた取り組みには継続性が必要であり、今後も引き続き積極的な予算確保を当局に求めていきたいと考えています。

■ 「障害者優先調達推進法」の施行にあたって 市役所全庁を挙げた取り組みを

平成25年4月1日から、「障害者優先調達推進法」が施行されました。この法律は、障害を持った人たちがもっと就労による自立した生活を送ることができるよう、国や地方自治体が計画を立てて障がい者施設等からの物品調達に努め、その成果を公表することなどを求めたものです。条例・予算特別委員会における私の質問では、同法の施行を受けて福岡市が具体的にどのように取り組むのか等について質疑を行いました。

同法を受けて福岡市では今年度より障がい者施設等の連携強化や商品開発にあたっての助言等に取り組む「コーディネーター」を設けるほか、各局、各区役所等、福岡市役所の全部局に対して優先調達への協力要請を行う「担当主査」(係長級職員)を配置するなどの取り組みを行っています。

一方で役所の組織が縦割りであることを考えれば、新設される担当主査が局、部の壁に阻まれて苦労することが容易に予想されます。今回の質問では特に担当主査の業務にあたって全庁的な理解と協力が不可欠であることを指摘し、市長から「全庁を挙げて取り組む」旨の答弁を得ました。↗



「地域とともに汗をかく」姿勢で
残りの任期を務めたいと思います。

5月で任期3年目に入ります。

■ 副市長人事について

副市長として2年に渡り高島市長を支えてきた山崎氏(総務省出身)、渡辺氏(元本市局長)が3月末で退任し、後任に総務企画局長の貞刈氏と農水局水産部長の中園氏が就任する人事案を報じたのは、2月21日の夕刊各紙でした。市議会に平成25年度予算案が正式に上程されたのは翌22日でしたが、これは予算の上程よりも前というタイミングで、議会の同意案件である副市長人事の情報が「漏えい」するという前代未聞の事態であり、責任ある説明を求めるべく質問を行いました。

特に質問で強調した点は①「情報管理があまりにお粗末である」②「部長級からの副市長就任(中園氏)は前例のない抜擢があまりに唐突である」③「財政難の折、前市長時代に合わせて副市長を1名減らすべきである」等でした。特に前例のない抜擢人事については、「基準もあいまいなままに、部下がある日突然、自分の頭を飛び越えていく」ことは幹部職員にとってまさに青天の霹靂であり、あまりに熟慮の足りない意思決定だったことを指摘しました。トップの思いつきが、職員を困惑させる場面が見受けられるように思います。こうした点は、議会の場でも明確に指摘していかなければなりません。

最優秀賞
獲得!!

インターン4期生が 最優秀賞を獲得!!

2月上旬から3月末まで調たかし市政相談所でインターン活動をしていた3名の学生が、3月30日(日)に行われた政策発表会で優勝にあたる「最優秀賞」を獲得しました。このインターン制度は、福岡県内の国会議員、県議、市議など各級議員の事務所で県内の大学生たちが職業体験を行うもので、調たかし市政相談所ではこれまで通算4期に渡ってインターン生を受け入れ、夏祭り等地域行事のお手伝いや各種イベントへの参加のほか、政策研究等を行ってきました。

政策発表会は、インターン生たちの派遣元である学生で作るNPO団体、「ドットJP」が主催するもので、各級議員事務所から20組余りが参加しました。最優秀賞を獲得した研究テーマは「大河ドラマ・軍師官兵衛の放送による経済効果の増加に向けて」でした。福岡ゆかりの黒田官兵衛の名が全国に広まる千載一遇のチャンスを生かし、多くの観光客を集めるイベントの開催等を提案しました。4期生の活動中、お世話になった地域の皆さんに心よりお礼申し上げます。

地域活動!

西南杜の湖畔公園のバス駐車場整備について(一部既報)

■ 整備完了は平成26年春の見通し

地域のグラウンドゴルフやサッカー・野球の大会などで利用されている西南杜の湖畔公園は、事業完了までふれあい広場の整備と一部の駐車場の整備を残すのみとなりました。このうち、公園北側のマンション跡地に予定されているふれあい広場について、地元のご意見を受けて福岡市の担当部署と折衝を行い、当初計画が一部変更されることになりましたのでお知らせいたします。

平成25年夏のインターハイで西南杜の湖畔公園はサッカーの試合会場として使われることになっていますが、当初計画ではふれあい広場の予定地を大型バスの駐車場として現状の空き地のまま利用し、その後に公園全体のエントランスとして整備することになっていました。一方で、同公園には現在大型バスが駐車できるスペースが皆無であり、サッカー・野球等の大会で同公園が使用される際に、乗用車が駐車場に入りきれない周辺の路上にあふれるなどの問題が起きていました。また、市外や県外か

らの遠征を希望するチームに対して、バスの駐車スペースがないことを理由に、使用を断っている現状がありました。

近隣にお住まいの方々からはバスの駐車スペースが必要とのご意見を多数頂いていたため、福岡市の公園管理の担当部署と折衝を行い、ふれあい広場予定地に大型バス数台を駐車できるスペースが整備されることになったものです。ふれあい広場は平成26年春に整備完了する見通しです。

城南区が誇る多目的公園が地域の皆さんとの共感を得ながら多くの人たちの健康づくりに役立てられることを願ってやみません。



調たかし市制相談所

事務所移転のお知らせ



調たかし市政相談所は、現事務所の契約満了に伴い、平成24年12月1日(土)から以下の住所へと移転します。**電話・FAXの番号は従前通り**です。

今後とも市政に関する様々なご意見、ご要望をお寄せ下さい。皆さまのお越しをお待ちしています。

ぜひ、お立ち寄りください！

〒814-0131

福岡市城南区松山2-5-5 志のぶビル201号

TEL：092-834-9984 FAX：092-834-9983

mail：info@t-shirabe.net

事務所移転先



ウェブサイトのご案内



ツイッターやフェイスブックなどと連動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

また、オフィシャルウェブサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声を聞かせて下さい！

www.t-shirabe.net/

調たかし

